

平成19年度「利用者調査」について

1月15日から29日の期間で実施いたしました「利用者調査」では、実に多くのご意見やご要望をいただくことができました。利用者調査につきましては昨年度に続いて2度目の受審となりましたが、今年度から質問事項や回答方法が少し改良されたこともあって、回収率・自由意見ともに昨年度の数字を上回る結果となりました。ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

調査の集計結果と評価機関による分析につきましては別ページにて公表しておりますので、ここではお寄せいただきましたご意見ご批判に対しまして、当園からの回答を記載させていただきます。

いただいた自由意見	保育園からの回答
乳児クラスなのになぜ10時のおやつがないのですか。	午前のおやつは栄養素の補充が主な目的ですが、朝食・給食できちんと摂ることができます。また、心身の成長発達のために、午前中の活動時間を十分に確保することを大切に考えています。登園時間が早く空腹感が体調や機嫌に悪影響を及ぼす児童には、個別に対応しています。
嫌いな物も全部食べないとお替りできないのでおなかいっぱい食べられません。	日本食固有の三角食べや適切な栄養摂取の観点から偏食にならないように心掛けていますが、嫌いな物の量をかなり減らすなどの対応はしています。
暑い日は帽子をかぶせて欲しいと思ったり、冬の寒い日は控えても・・・と思ったりすることもあります。	夏季の戸外保育は帽子着用ですが、初夏や秋口の日差しが強い日にも着用するようにします。気温が低い時の戸外保育は、児童の体調や日差しなどを考慮しています。
早い迎えを要求されます。勤務地が遠いと、すぐに迎えにいけないことで小言がつかます。	高熱の場合など緊急を要する場合はできるだけ早いお迎えを依頼していますが、勤務地などに配慮のない対応があったとのことにつきましては、以後そのようなことがないように注意いたします。
すり傷などけっこう見かけるけど何をして切れたなどの説明がない事が多いです。	申し訳ございません。経緯をきちんと説明するように心掛けるとともに、服の下のすり傷など見逃してしまいごちな怪我にも一層の注意を払ってまいります。
園内は階段が急な所などあります。	仰る通りですが、改築や大規模修繕ができないため、手すりや滑り止め、大人の介助での対応しています。
出入り口の鍵について子ども自身で開けられないことと、出入りの際に必ず閉めることをもっと徹底して欲しいです。	平成20年度中に、門・フェンスの取替え工事を予定しています。また、徹底につきましては掲示や園だよりにて周知するようにいたします。
保護者懇談会が13:00からだ仕事と仕事を休む事になります。16:00からとかだと助かります。	保護者会では現在午前中に保育参加を設定させていただくことも多いです。乳児クラスでは夕方遅い方が不都合となる方もいらっしゃると思います。また、幼児クラスでは各家庭のご都合などを考慮しながら、臨機応変に時間設定しております。ご家庭と保育園とが連携を密にして育児をしていく上で、仕事を休んでも出席したくなるような魅力のある保護者会にする努力をしていきたいと思っております。
本当に言いたい事や理解して欲しい事を察する事ができる先生が少ないです。	私たちの力量がまだまだ不足しているものと思います。言葉の裏側にある想いや態度には表せない状況など、適切に想像し引き出せる力をみにつけたいと思っております。
他の保護者に話が漏れていることがあると感じます。	申し訳ございません。そのようなことがないように、職員間で意識徹底をしてまいります。
連絡帳が出しっぱなしで見られます。	朝の確認後、裏返しにして重ねていくようにいたしました。幼児クラスではお仕度の中で子どもが提出できるように保育室内にカゴを置いていますが、他人の連絡帳を覗き読みするような利用者はいないと考えています。
私が部屋に入ったことに気付いているのに、あいさつもできない先生がいます。	申し訳ございません。そのようなことがないように、職員間で意識徹底をしてまいります。

<p>自分の子どもを親の代わりに育ててもらっているの。 (不満は言いづらい)</p>	<p>当園は親の代わりではなく、子どもを「一緒に育てる」と考えていますし、「育ててあげている」というような意識もありませんが、そのように感じさせてしまうことがないような言動・態度を心掛けていきます。</p>
<p>先生によってマニュアル通りにしか見てもらえないクラスもあるので統一して欲しいです。</p>	<p>当園は、職員それぞれの思考・判断を有効に活用することが「保育の質の向上」へつながると考えていることから、保育実践に関する技術的なマニュアルは作成しておりません。それが逆に統一感のなさや技量の差を感じさせてしまっているということにつきましては、平成20年度の研修課題として改善に取り組みます。</p>
<p>園長の対応が良いとは思えません。</p>	<p>至らない点が多々あることは日々自己反省しておりますが、自らでは気付き得ないことや主観に捕らわれてしまうことなども多くあると思いますので、いろいろな観点からのご指摘、ご指南をいただけたらと思います。</p>
<p>(苦情処理制度、第三者委員について)詳しくは知りませんでした。</p>	<p>現在は「入園のしおり」と当園ウェブサイトにて広報しておりますが、園だよりなどでの周知も検討いたします。</p>
<p>何でクリスマス会がないのですか？仏教ですか？</p>	<p>保育園でキリスト降誕を祝う意味がありません。当園の行事は、文化的な背景や目的を大切に考えていますし、それを子どもたちに伝えていくことも役割であると思っています。当園ではクリスマスは単なる「お楽しみ」という認識ですので、12月の誕生日会でサンタクロースを題材にしたり、飾りを製作したりすることがある程度で、行事として設定することは考えておりません。</p>
<p>給食の時に使うおしぼりはなんで冷たいんですか？</p>	<p>0,1歳児は顔や手を拭いてあげなければならないため、寒い時期に限り温めたものを使用しています。その他では特に温める必要はないと考えています。</p>
<p>10月中旬の散歩後、着替えで外で裸になるのは風邪をひく原因になるのではないですか？</p>	<p>風邪はウイルスによる感染症ですので寒いからといって風邪をひくわけではありませんが、寒さにより身体の抵抗力が低下することはありますので、気温や天候も考慮しています。また、当園では普段から身体の抵抗力を高めるため、戸外運動や薄着の奨励をしています。</p>
<p>秋、冬と日が落ちるのも早くなり暗くなっているのに、夕方17時を過ぎても外で遊んでいるのは良くないと思います。</p>	<p>秋冬は17時を目安に園庭の片付け、室内への移動を行っています。曇りや寒い日にはもっと早めに行っている一方で、遊びの状況から片付けが遅くなってしまっていることもあります。</p>
<p>年長さんは翌年から小1です。ルールみたいのを教えたらと思います。</p>	<p>保育園にもルールはたくさんありますし、交通ルール・ルールのあるあそび・当番活動・道具の使い方など、子どもたちに教えていることもたくさんあります。また、そのようなルールは日常生活の中で習得していくもので、年長児限定ではありません。</p>
<p>4月から水遊びと違って早過ぎではないでしょうか。</p>	<p>4月や10月にも日差しが強く気温が高い日はありますし、6月や9月でも気温が低い日には水遊びを避けています。子どもたちも大好きな遊びですし、「まだ4月だから水遊びはさせない」というような対応は考えていません。</p>
<p>他園に比べて、着替えの洗濯の量が多過ぎます。もう少し減らせないでしょうか？</p>	<p>土・泥遊びを始め、自然と調和した活発な戸外活動を重視しているため、汚れ物はどうしても多くなってしまいます。洗濯が大変ということは承知しておりますが、当園の保育活動を好まれて入園されているご家庭も多く、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
<p>朝、みんなで体操というかダンスをして欲しいです。</p>	<p>当園では、音楽に合わせてダイナミックに身体を動かす「リズム運動」を取り入れています。楽しみながら身体・知能・情緒の全面的な発達を促していく活動を、各年齢に合わせて積極的に行っています。</p>

<p>汚れた下着の対処（水洗いしていない、うんちがついたまま）とか、風邪をひいて鼻水が出たまま遊ばせている園児を見ると少し不安になります。</p>	<p>うんちをおもらした下着は水洗いをしていますし、鼻水も放置してはいませんが、ご指摘いただいたような状況を見逃すことがないように注意します。</p>
<p>豆まきは、乳児さんのほうへも鬼が行って全体でやっつける！みたいな以前の状態にしてもいいかも。怖がらせないでとかクレームがあったのかもしれませんが。</p>	<p>4年前から「0,1歳は2階で」という形に変えましたが、鬼は2階にも少し顔を出すようにしています。</p>
<p>すごく寒い日でも赤ちゃんクラス、1歳児クラスなどの散歩はバギーに乗っているだけなのに薄着すぎると思います。母親が仕事で休みづらいのに、鼻水が出て薄着ですぐ風邪をひいてしまうのは大変困ると思います。大きくなって寒い時は長ズボンで散歩に行くなど防寒対策はしてほしいです。お迎えの時、子どもが冷たくなっている事があり心配になります。</p>	<p>鼻水が出ているような時は身体がウィルスに抵抗している時ですので、逆に厚着をすることで体内の放熱機能がなくなって風邪をひき易くなります。一方、あまりに身体が冷え過ぎると抵抗力が落ちてしまうため、適度な保温は大切です。現代の大人には薄着過ぎるように見えますが、放熱や保温を考えながらこまめに衣服の調節をしています。また、皮膚が冷たくなるのは身体の放熱を防いで体温を保つための反応で、病気や病因ではありませんのでご安心ください。</p>
<p>延長保育を行ってほしいです。</p>	<p>板橋区内には延長保育実施園が63園ありますが、未実施園には日中保育の充実やご家庭との密な連携などのメリットがあります。子どもの発達のな問題、育児環境の問題を多く抱える現代においては、延長保育実施園では応えきれないニーズに重点を置いた保育事業に取り組む保育園も必要であると考えています。</p>
<p>保護者の平日の休みの日に、無理に子どもを休ませる事はしなくてよい、保育士からそういった事を強制しないという話でしたが、いまだにそういうニュアンス（「休まないんですか？」）で話してくる保育士もいます。</p>	<p>申し訳ございません。そのようなことがないように、職員間で意識徹底をしていきます。</p>
<p>園長と職員の関係はどうかかなあと少し気にかかります。</p>	<p>ご心配をおかけして申し訳ありません。園長歴3年で年齢も若く、至らない点も多々あることはご存知の通りですが、職員がそれを軽視したり、また敵対したりというような関係ではありません。職務・職責は違いますが、同じわかたけ第二保育園の従事者として、より良い保育を目指していることに違いはありません。</p>
<p>クラス担任の先生は毎年同じではなく代えても良いのではと思います。</p>	<p>0～3歳児クラスの場合、環境の変化を緩やかにしたり成長発達の段階を継続して追っていくために、できるだけ持ち上げりの保育士を配置するようにしています。</p>
<p>子どもの扱いについて多少荒い保育士がいます。手を強く引っ張ったり、子どものシャツを引っ張るなどの場面を何度か見かけました。</p>	<p>申し訳ございません。そのようなことがないように、職員間で意識徹底をしていきます。</p>
<p>職員に数名、感じの悪い人がいて、朝やお迎えの時憂鬱になります。</p>	<p>そのような印象を与えてしまい申し訳ございません。言動や態度については職員一同特に意識をしているつもりなのですが、指摘を受けて初めて気付くこともあると思いますので、園長や第三者委員までお知らせください。</p>
<p>保護者同士がなかなか会えないので、できれば各家庭での様子も知ることが出来れば、子育ての不安解消や、参考になるのではないかなと思います。</p>	<p>保護者会や給食交流会などで各家庭の様子を話し合ったりすることがありますし、たまにクラス便りなどでも触れていますが、今後アンケートの実施なども検討していきます。また、当園は比較的保護者同士のつながりがあって、クラス親睦会などはよく行われていると思います。</p>
<p>預け入れお迎え時に、子どもの様子を聞いたり1日変わりがなかったか一声ほしい。</p>	<p>できる限り行うようにしていますが、他の児童や保護者への対応と重なったりするなど、どうしても直接会話ができないことがあります。連絡帳やお便りなどで補いますので、ご家庭での様子もできるだけお知らせください。</p>
<p>入口の門の扉を抱っこしても開けやすいようにしてほしいです。</p>	<p>平成20年度中に、門・フェンスの取替え工事を予定しています。</p>
<p>全体的に散らかっています。清掃はしているように見えますが、整理整頓がされていません。</p>	<p>職員の意識によるところが大きいと思いますので、職員間で徹底していきます。</p>

<p>(調査について) 保護者の年齢や子どもの年などを聞いていたら、全体的にみて無記名でも誰だかある程度特定できてしまうと思うのですが!</p>	<p>集計は調査機関が行っています。当園が知り得るのは集計結果だけですので、1人の方の回答を全体的に見るなどにはできないようになっています。</p>
<p>第三者評価は20～30万円ぐらいすると聞いています。何年間かに一度と決めて、費用削減した方がいいのでは?</p>	<p>第三者評価の受審費用は、全体調査で約60万円、利用者調査のみで約20万円です。今年度からすべての保育園が毎年実施しなければいけないことになっていきますし、費用は東京都による用途限定の全額補助ですので当園の費用削減にはなりません。</p>
<p>このような調査は日頃思っている事を言えないお母さんたちがいるため、毎年行う方がよいと思います。</p>	<p>当園は、保護者の方が思っていること、感じていることを直接お話していただけるような関係が望ましいと考えていますが、このような調査を通じた対話も大切であると思います。今回の回収率は70%ですが他園と比較するとかなり高い数字でして、保護者の方々の保育園に対する関心の高さ、子どもたちへの想いの強さをうかがい知ることができたことも良かったと思います。</p>
<p>早番や遅番の時に担任に会えない日が続くことがあります。</p>	<p>保育士の勤務時間は基本的にローテーションで行っていますが、休日や外部研修、会議や事務処理などが重ってしまうと直接お会いできない日が続いてしまうこともありますので、連絡帳やお便り、掲示物や他の職員への伝言などで対応させていただいています。</p>
<p>保育事業は、日曜・祝日休めない職種の方も大勢いるのですから、無休で行うべきではないでしょうか。</p>	<p>川崎市など休日保育を複数園実施している自治体もありますが、板橋区には現在「休日保育」の制度はありません。区内の一部認証保育所では利用者の費用負担のもとに実施していますが、認可保育所における休日保育は自治体の特別な補助がなければできません。</p>
<p>園の設備修復にもう少し予算をまわせたら先生方も働きやすくなると思います。</p>	<p>保育所の運営費が年々削減されている中では、保育用品や給食材料費など子どもたちに関わる事業費と職員配置や労働条件に関わる人件費を確保するだけでも大変なことですので、施設整備や設備修復に関わる事務費がどうしても後回しになってしまっています。</p>

わかたけ第二保育園では、今回の利用者調査の結果を職員全体で確認し討議を重ねた上で、以上のような形で回答させていただきました。不十分なところがあるかも知れませんが、さらに詳細な説明を希望されたり、また違ったご意見やご感想があるなどする方は、文書でも電子メールでも構いませんので、お手数ですが園長までお知らせください。